

2025年3月期 第3四半期決算概要



日進工具株式会社

2025年1月31日
(証券コード6157)

目次

2025年3月期3Qの業績	P. 3 . . .	第3四半期決算（累計）の概要
	P. 4 . . .	営業利益の減益要因
	P. 5 . . .	損益計算書サマリー
	P. 6 . . .	貸借対照表サマリー
	P. 7 . . .	業績推移
<hr/>		
2025年3月期の業績予想	P. 14 . . .	業績予想
	P. 15 . . .	下期業績予想と進捗率
	P. 16 . . .	配当予想
<hr/>		
参考資料	P. 18 . . .	過去5年間の業績と主要データ推移
	P. 19 . . .	投資指標
	P. 20 . . .	株価推移とバリュエーション
	P. 21 . . .	I R 情報サイトのご案内

2025年3月期 第3四半期の業績



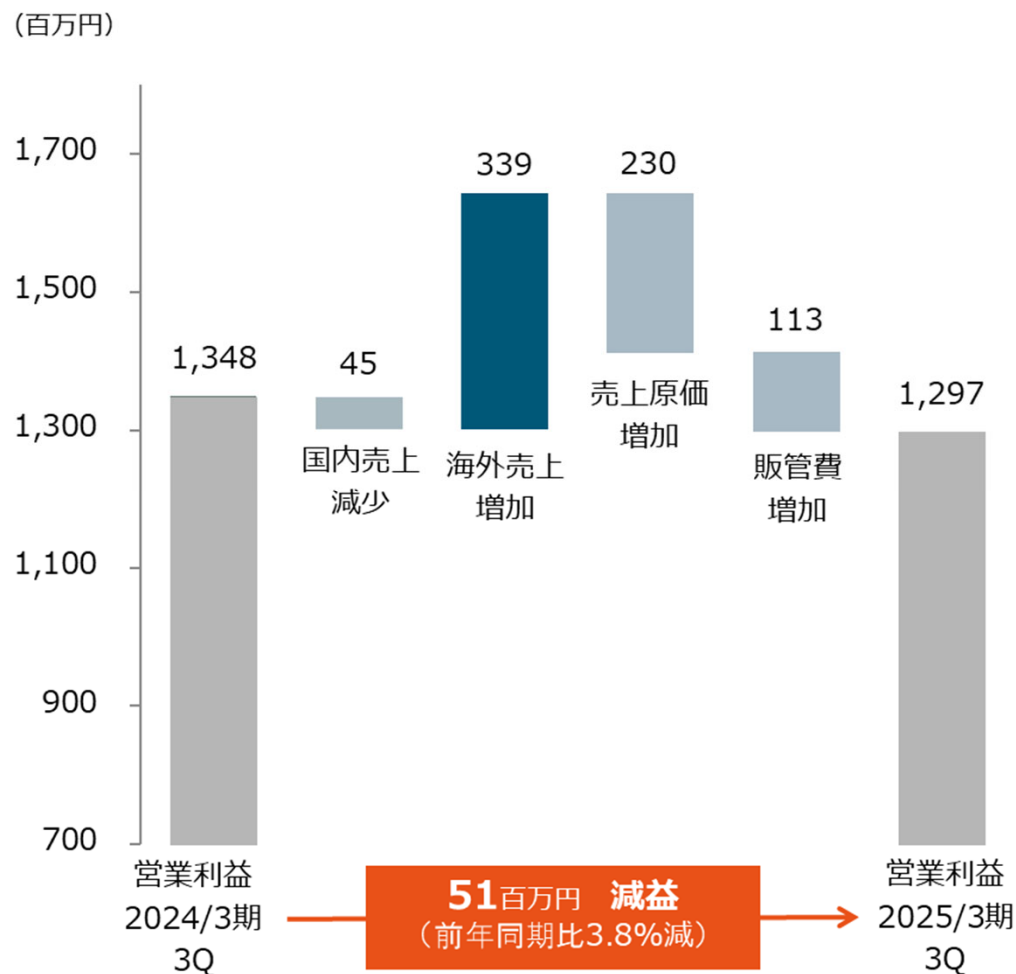
第3四半期決算（累計）の概要

前年同期に比べ増収・減益
ほぼ通期予想通りの進捗

(単位：百万円)	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計	2025年3月期 通期予想	進捗率
売上高	6,749	7,042	9,430	74.7%
前年同期比	-8.3%	+4.3%	+4.3%	
営業利益	1,348	1,297	1,730	75.0%
前年同期比	-18.9%	-3.8%	-7.4%	
経常利益	1,362	1,302	1,740	74.9%
前年同期比	-17.6%	-4.3%	-8.8%	
四半期純利益	928	918	1,190	77.2%
前年同期比	-17.1%	-1.1%	-9.9%	

- 国内では、半導体や電子・デバイス関連が、AI関連需要に牽引され堅調に推移したが、自動車関連が、生産台数の回復には至らず、また新規車種の開発も少なかったことから、工具需要は回復しなかった。一方海外では、中華圏がEVやスマートフォン向け電子部品関連の受注獲得により好調に推移した。
- 連結売上高は7,042百万円と、前年同期比4.3%の増加となった。
- 連結経常利益は1,302百万円と同4.3%の減少。売上高経常利益率は18.5%と同1.7ポイント低下。
- 前年同期比減益も、売上高・利益ともにほぼ通期予想通りの進捗。

営業利益の減益要因



- 売上高は国内が前年同期比45百万円、1.0%減少、海外は同339百万円、17.1%増加した。売上高全体では同293百万円、4.3%の増加となった。
- 労務費や製造電力費など製品製造原価の増加により、売上原価は同230百万円、7.5%の増加。
- 販管費は製品カタログの改訂費用等により販売費が同12.2%増加し、販管費全体では同113百万円、4.9%の増加となった。
- これらの結果、営業利益は同51百万円、3.8%減少し1,297百万円となり、売上高営業利益率は18.4%と1.6ポイント低下した。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2024年3月期 3Q累計	2025年3月期 3Q累計	前年同期比 増減率
売上高	6,749	7,042	+4.3%
売上総利益	3,669	3,731	+1.7%
対売上高比率	54.4%	53.0%	
販管費	2,321	2,434	+4.9%
対売上高比率	34.4%	34.6%	
営業利益	1,348	1,297	-3.8%
対売上高比率	20.0%	18.4%	
経常利益	1,362	1,302	-4.3%
対売上高比率	20.2%	18.5%	
四半期純利益	928	918	-1.1%
対売上高比率	13.8%	13.0%	
設備投資額	467	113	-75.7%
減価償却費	463	473	+2.3%
従業員数（人）	352	363	+3.1%

- 売上高は7,042百万円と前年同期比4.3%の増加。国内向けは自動車関連を中心に低調だったが、中華圏向けが好調に推移した。
- 売上総利益は3,731百万円と同1.7%増加。売上総利益率は53.0%と同1.4ポイント低下。
- 販管費は販売費の増加等に伴い、同4.9%増加し、売上高販管費比率は34.6%と同0.2ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同3.8%減少の1,297百万円、売上高営業利益率は18.4%と同1.6ポイント低下した。
- 設備投資額は、新規設備導入が少なく113百万円と同75.7%の減少。減価償却費は前期繰越分の設備稼働により同2.3%の増加となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2024年 3月期末	構成比	2025年 3月期3Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	12,719	66.1%	13,033	67.5%	+2.5%
現金及び預金	8,893	46.2%	9,355	48.4%	+5.2%
受取手形及び売掛金	1,305	6.8%	1,353	7.0%	+3.7%
棚卸資産	2,381	12.4%	2,238	11.6%	-6.0%
II 固定資産	6,521	33.9%	6,285	32.5%	-3.6%
有形固定資産	5,361	27.9%	4,989	25.8%	-6.9%
無形固定資産	24	0.1%	17	0.1%	-28.5%
投資その他の資産	1,135	5.9%	1,278	6.6%	+12.5%
資産合計	19,241	100.0%	19,318	100.0%	+0.4%
(負債の部)					
I 流動負債	1,287	6.7%	1,070	5.5%	-16.9%
買掛金	173	0.9%	231	1.2%	+33.7%
II 固定負債	224	1.2%	224	1.2%	-
負債合計	1,512	7.9%	1,295	6.7%	-14.4%
(純資産の部)					
自己資本合計	17,525	91.1%	17,829	92.3%	+1.7%
純資産合計	17,729	92.1%	18,023	93.3%	+1.7%
負債・純資産合計	19,241	100.0%	19,318	100.0%	+0.4%

流動資産

新規設備投資の減少により現金及び預金が増加したこと等から前期末比2.5 %増加。

固定資産

新規設備投資が少なかったことから減価償却が上回り、同3.6 %減少。

負債

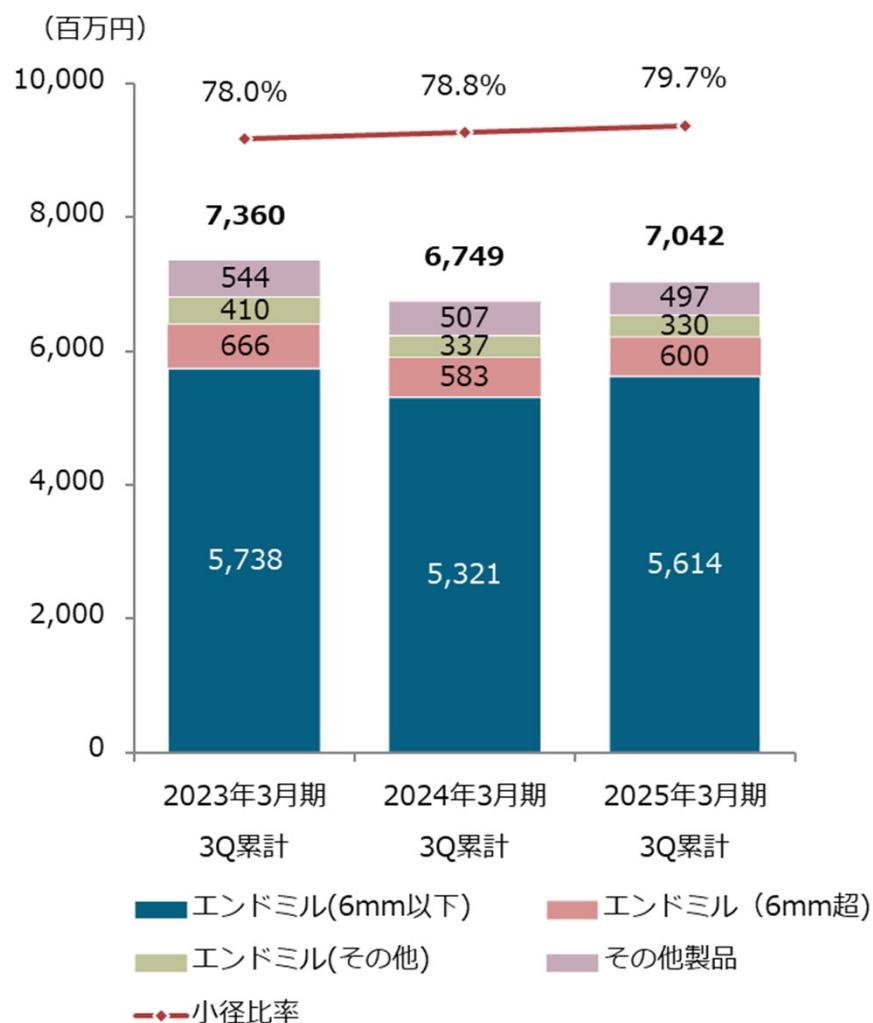
未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同14.4%減少。

純資産

利益剰余金の増加等から、同1.7%増加。負債の減少もあり自己資本比率は92.3%と同1.2ポイント上昇。

業績推移（売上高の推移①） 製品別

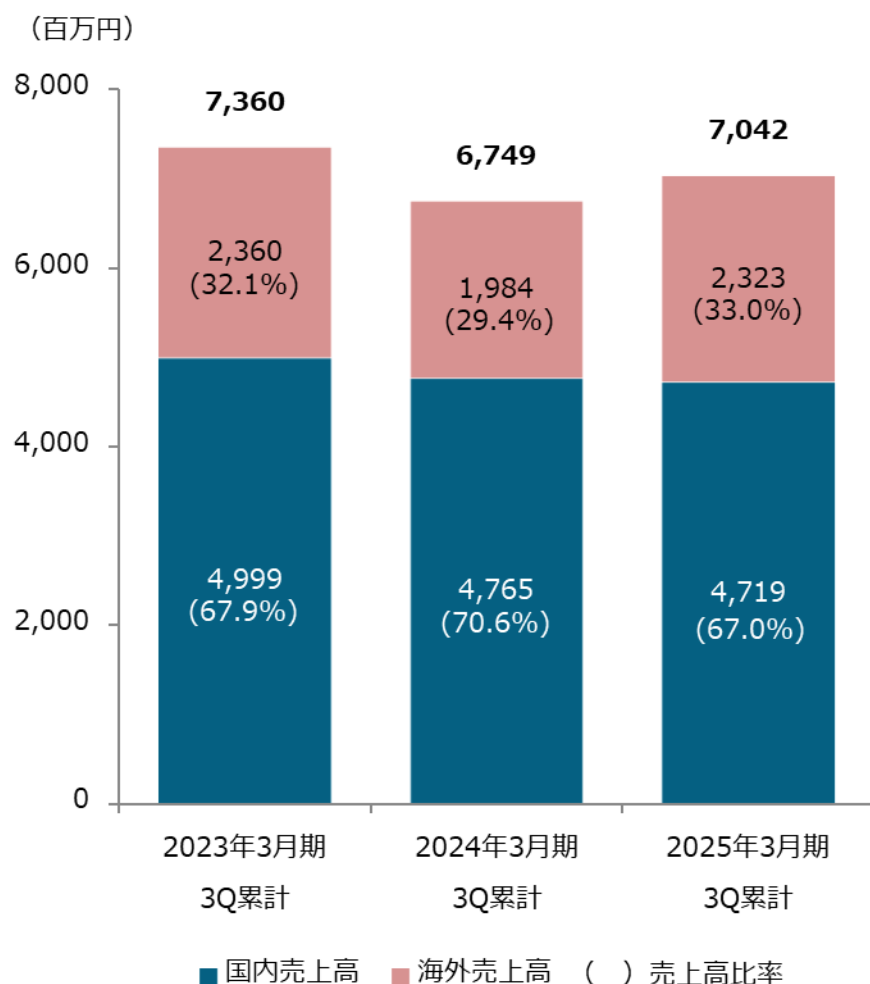
製品別売上高と小径比率の推移



- 製品別売上高の内訳は、エンドミル（6mm以下）が同5.5%の増加、エンドミル（6mm超）は同2.8%増加、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同2.0%減少し、工具ケース等のその他製品は同2.0%減少した。
- 売上高7,042百万円のうち、主力のエンドミル（6mm以下）の売上が5,614百万円となり、小径比率は79.7%と同0.9ポイント上昇した。

業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

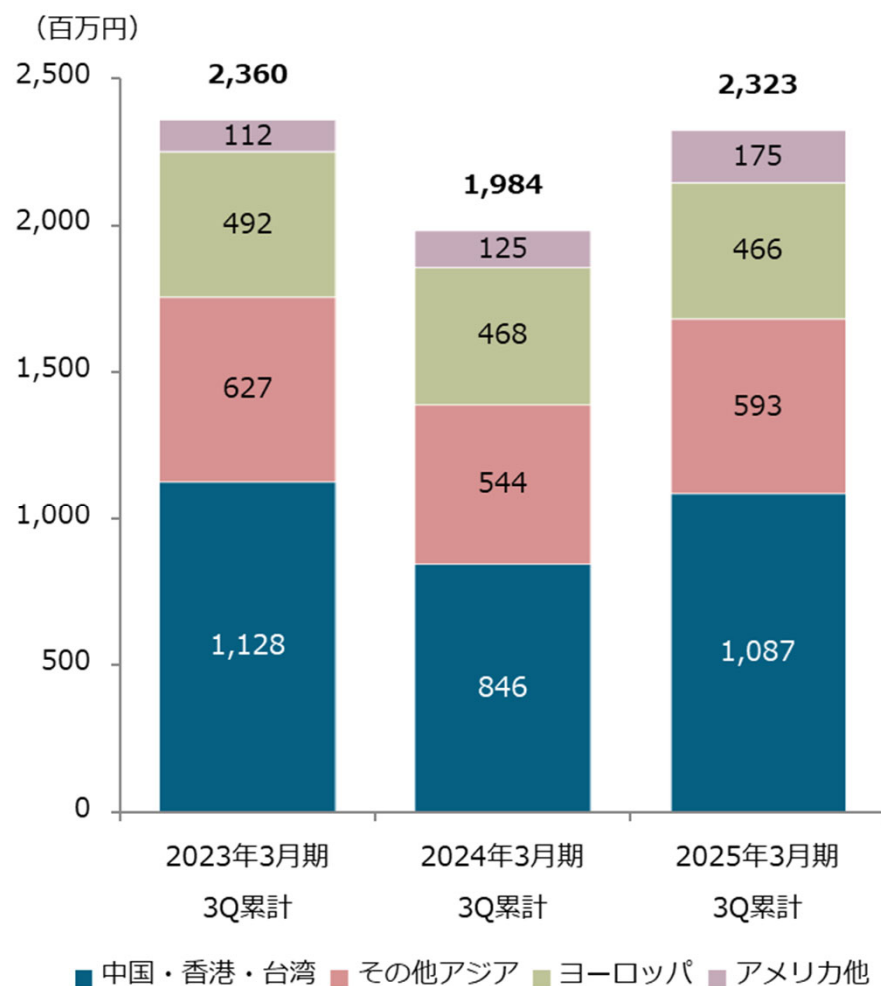
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比45百万円、1.0%減少し4,719百万円となった。海外売上高は同339百万円、17.1%増加し2,323百万円であった。
- 海外売上高は、前年同期に大きく低迷した中華圏で増加した。日進工具香港の連結にからみ、当四半期の中国向けの数字は1-9月分。
- 国内売上高が低調な一方、海外売上高が伸びたことにより海外売上高比率は前年同期比3.6ポイント上昇し33.0%。

業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

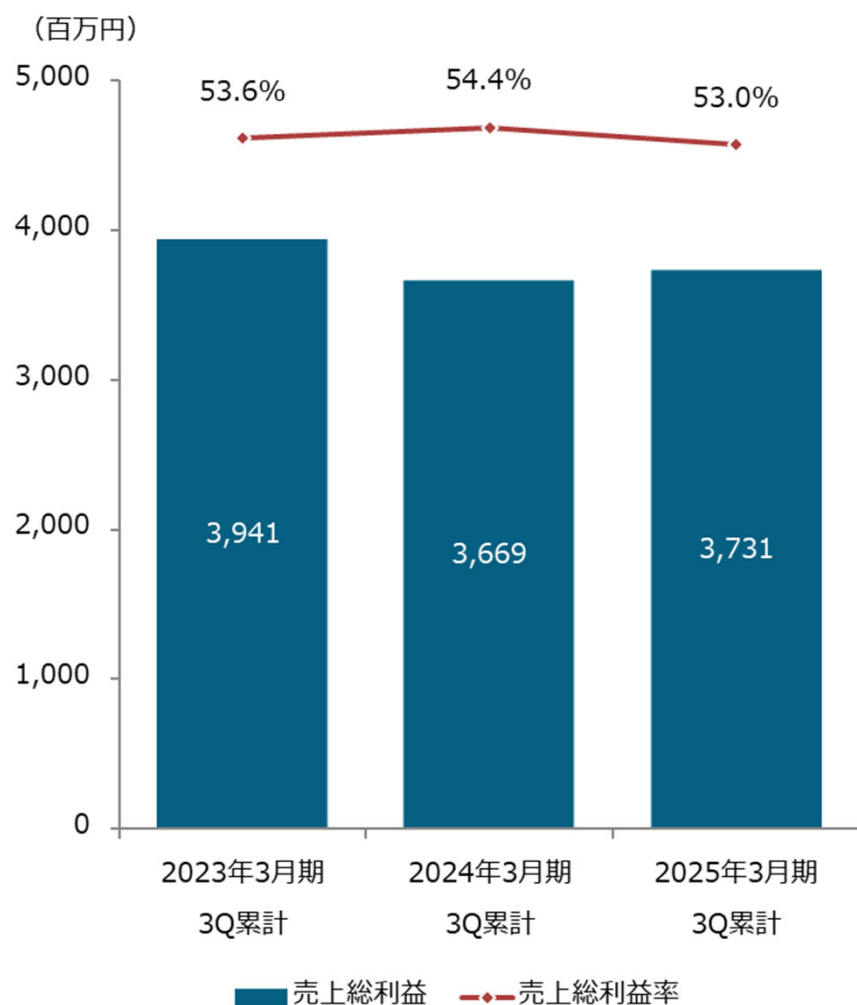
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比28.6%増加し1,087百万円。日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-9月分。スマートフォン関連の受注回復が継続。さらに、光学・EV関連での需要も継続し売上が伸びた。市況自体は好転していないが、受注獲得により前年同期よりも改善した。
- その他アジアは同8.9%増加の593百万円。タイでは若干市況が回復、さらに営業体制の強化を行ったこともあり比較的好調に推移した。インドは需要拡大による投資が盛んで好調となっている。
- ヨーロッパは引き続き自動車業界が低調となっており同0.2%減少の466百万円。
- アメリカ・メキシコ向けの数字はNS TOOL USAの連結にからみ1-9月分。売上増加の要因は、商流変更による連結期間のずれと為替レートの影響によるもので、実際の売上高の比較では微増にとどまる。

業績推移（売上総利益の推移）

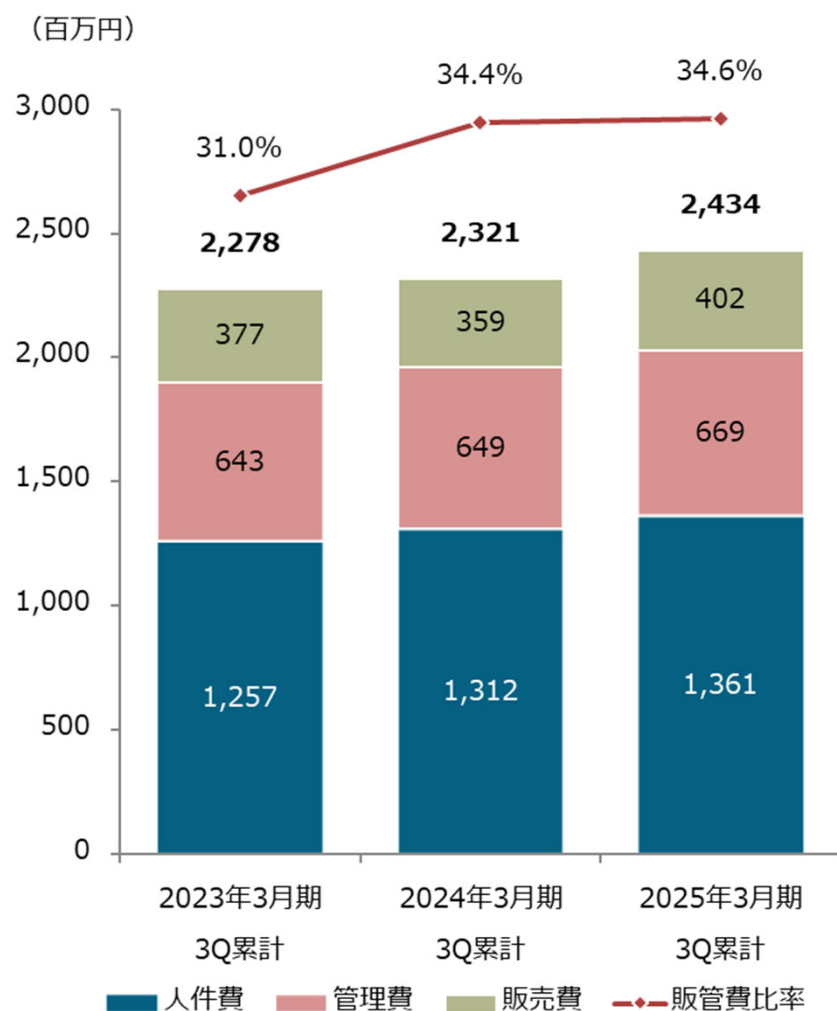
売上総利益と売上総利益率の推移



- 下期から生産量が増えてきたことに伴い、材料費は前年同期比8.7%増加。外注加工費は同1.1%減少、労務費は人員の増加や賃上げにより同3.9%増加、製造経費は製造電力費や工場消耗品費、製造修繕費等が増加し同10.1%増加した。
- 売上高および製造原価の増加に伴い、売上原価は同7.5%の増加となった。
- 売上総利益は同1.7%増加し3,731百万円、売上総利益率は53.0%と同1.4ポイント低下した。

業績推移（販管費の推移）

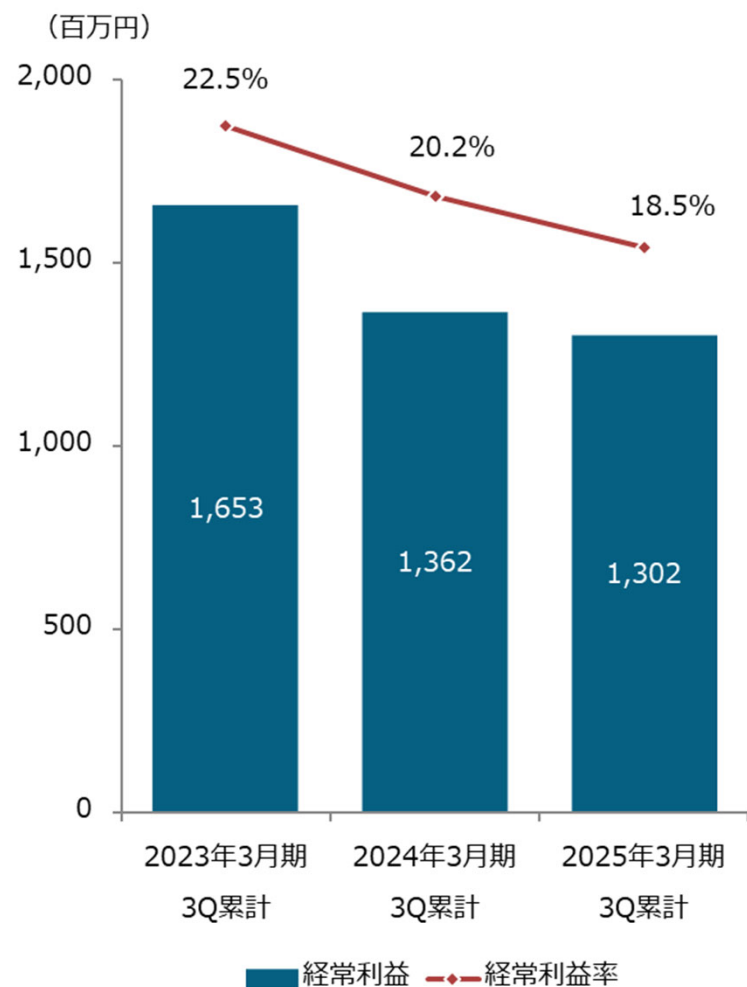
販管費と販管費比率の推移



- 販売費は前年同期比12.2%増加の402百万円。製品カタログ改訂に伴い広告宣伝費が増加したほか、大規模展示会への出展に伴い展示会費も増加した。
- 人件費は、賃上げや人員増に伴う給与や役員報酬の増加等から同3.8%増加の1,361百万円。
- 販管費全体では同4.9%増加の2,434百万円となり、売上高販管費比率は34.6%と同0.2ポイント上昇した。

業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 売上高は前年同期比4.3%の増加であったが、売上高以上に売上原価と販管費の増加率が高かったため、営業利益は同3.8%減少、1,297百万円となった。
- 営業外損益は、作業くず売却益等により営業外収益が16百万円、為替差損等により営業外費用が11百万円発生した。経常利益は1,302百万円、同4.3%の減少。
- 売上高経常利益率は18.5%と前年同期に比べ1.7ポイント低下した。

2025年3月期の業績予想



業績予想

(単位：百万円)	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,040	9,430	+4.3%
営業利益	1,867	1,730	-7.4%
経常利益	1,908	1,740	-8.8%
当期純利益	1,320	1,190	-9.9%
設備投資額	563	454	-19.3%
減価償却費	627	691	+10.2%
EPS (円)	53.03	47.89	-9.7%
1株当たり配当金 (円)	27.50	30.00	+9.1%

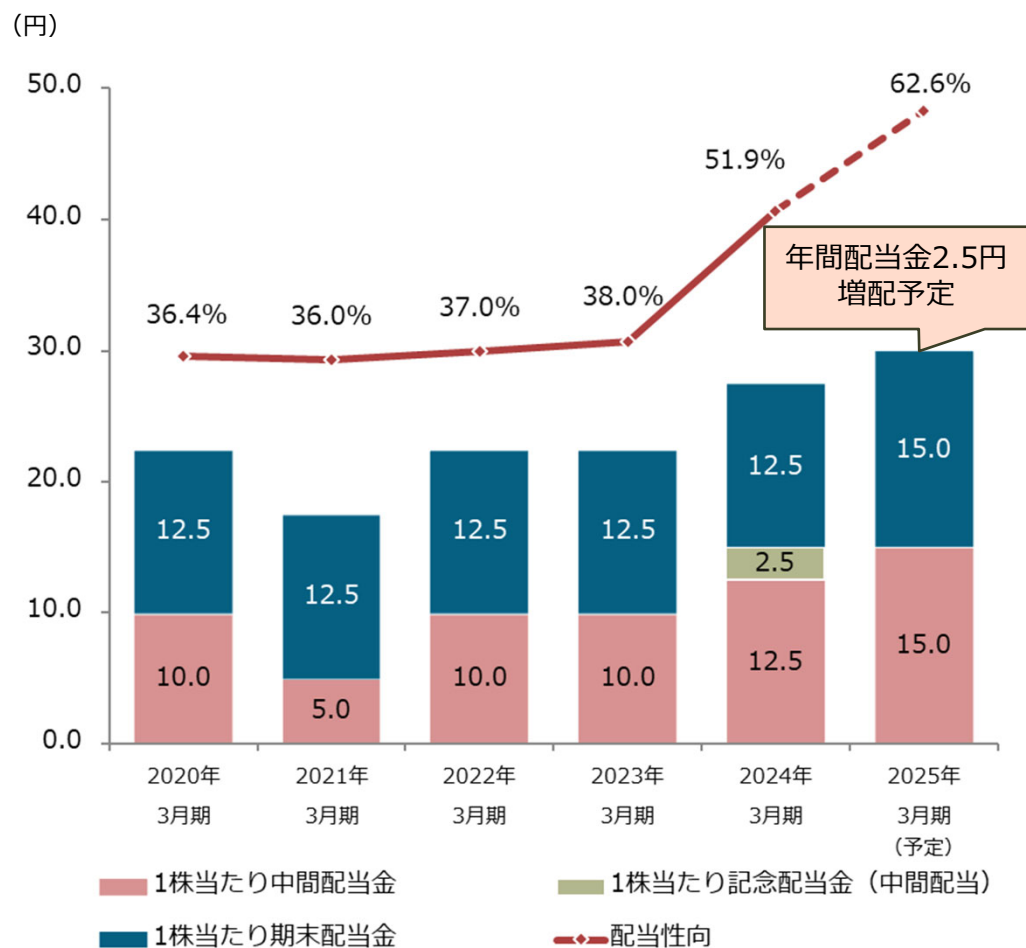
- 自動車関連は国内では需要の戻りが遅れているものの、下期での回復を見込む。半導体・電子部品関連はAI関連需要に加え、在庫調整が解消に向かうことから、下期にかけて徐々に回復していくと予想。
- 市況の回復や新製品の発売等から、売上は若干増加を見込むものの、電力費や新規設備稼働による減価償却費、賃上げによる人件費の上昇により、営業利益、経常利益ともに減益を予想。
- 設備投資は、主に継続的な生産設備の更新等を実施予定。設備投資額は前期比19.3%減の予定。
- 1株当たり配当金は、中間配当金15.0円、期末配当金15.0円の年間配当金30.0円と増配予定。

下期業績予想と進捗率

(単位：百万円)	2025年3月期					
	下期			通期		
	下期予想	3Q実績	下期進捗率	通期予想	3Q累計実績	進捗率
売上高	4,775	2,388	50.0%	9,430	7,042	74.7%
前年同期比	+3.3%	+2.4%		+4.3%	+4.3%	
営業利益	917	484	52.8%	1,730	1,297	75.0%
前年同期比	-17.8%	-18.8%		-7.4%	-3.8%	
経常利益	925	488	52.8%	1,740	1,302	74.9%
前年同期比	-18.8%	-17.6%		-8.8%	-4.3%	
当期純利益	621	349	56.3%	1,190	918	77.2%
前年同期比	-23.5%	-16.9%		-9.9%	-1.1%	

配当予想（株主還元について）

1株当たり配当金と配当性向の推移



安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2024年3月期の1株当たり年間配当金は27.5円。
創業70周年目を迎えるにあたり2.5円の記念配当を実施
中間配当金15.0円（普通配当12.5円、記念配当2.5円）
期末配当金12.5円
業績に対する配当性向は51.9%
- 2025年3月期の1株当たり年間配当金は、手元流動性が増加しており、株主還元強化のため30.0円に増配予定。
中間配当金15.0円
期末配当金15.0円
業績予想に対する配当性向は62.6%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1単元（100株）以上を3年以上保有（※）されている
株主様を対象にオリジナルクオカード2,000円分を贈呈。

※3年以上保有とは、株主名簿基準日（3月31日及び9月30日）の株主名簿に7回以上連続して、同一株主番号で100株以上の保有記録が記載または記録されることをいいます

參考資料

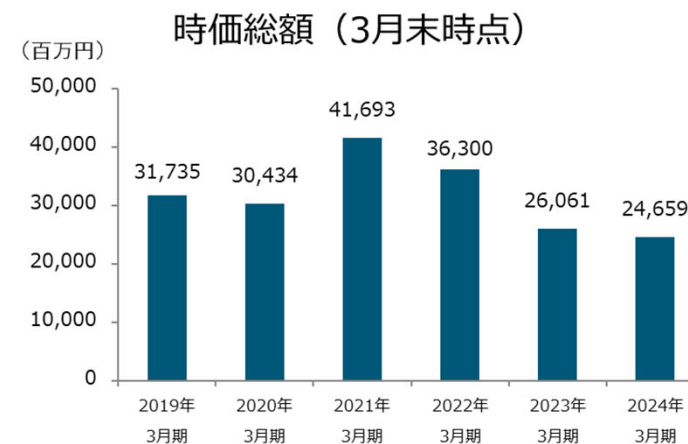
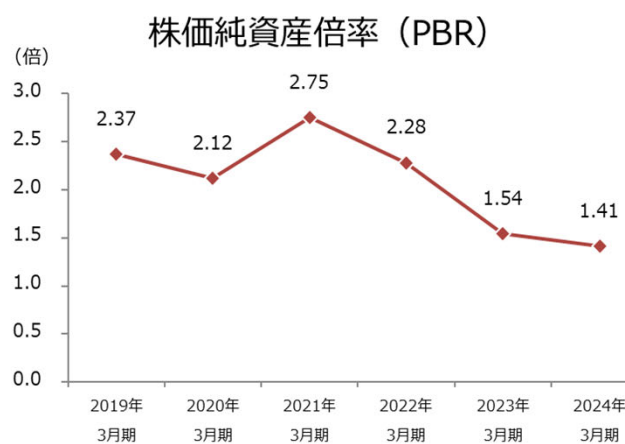
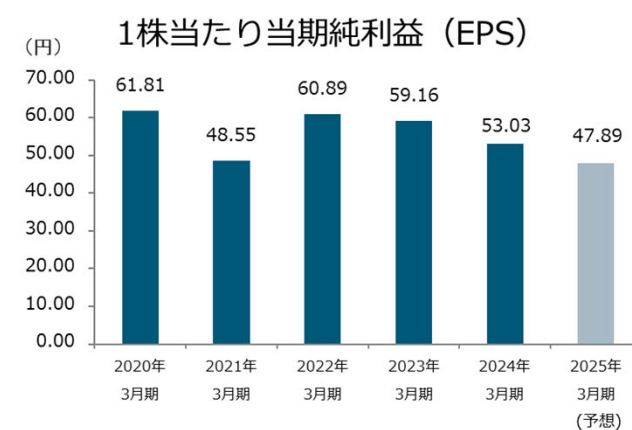
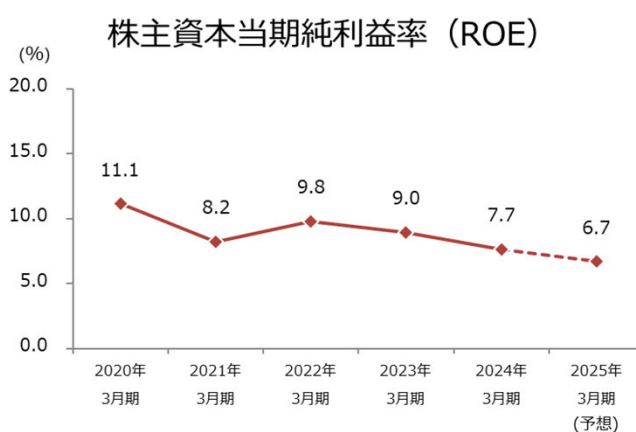
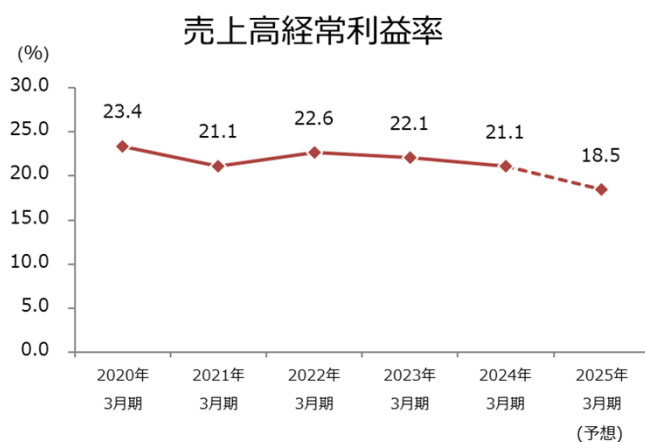


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期実績	2024年3月期 通期実績
売上高	9,531	8,100	9,524	9,656	9,040
営業利益	2,219	1,512	2,111	2,108	1,867
営業利益率	23.3%	18.7%	22.2%	21.8%	20.7%
経常利益	2,231	1,712	2,156	2,131	1,908
経常利益率	23.4%	21.1%	22.6%	22.1%	21.1%
当期純利益	1,545	1,214	1,522	1,475	1,320
当期純利益率	16.2%	15.0%	16.0%	15.3%	14.6%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	14,498	15,326	16,165	17,200	17,729
総資産額	16,017	16,936	17,874	18,857	19,241
自己資本比率	89.7%	89.4%	89.2%	90.1%	91.1%
設備投資額	1,755	462	659	686	563
減価償却費	698	707	692	669	627
1株当たり配当金（円）	22.50	17.50	22.50	22.50	27.50
従業員数（人）	338	339	348	352	350

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

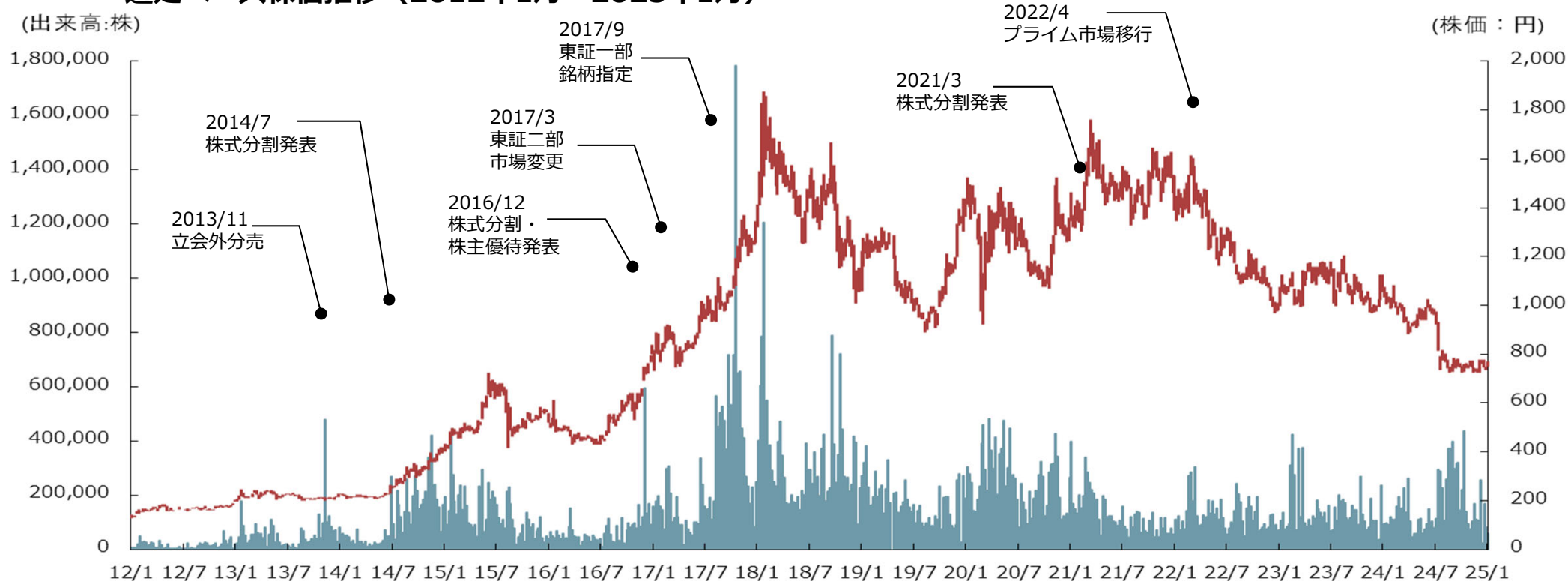
投資指標



※ 2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2025年1月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2025年1月29日現在）

売買単位	100株
時価総額	191億円
ROE (24/3期実績)	7.7%

単元株価格	7万6,300円
PER (25/3期予想)	15.93
PBR (24/3期実績)	1.08倍

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	佐原	大樹
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135

FAX : 03-6423-1186

E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。